

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじんふいるはもにつくういんずおおさかん 特定非営利活動法人フィルハーモニック・ウインズ 大阪		団体ウェブサイトURL http://osakan.jp/
代表者職・氏名	理事・松尾 共哲		
制作団体所在地	〒 563-0103	最寄り駅(バス停)	能勢電鉄「ときわ台」駅
	大阪府豊能郡豊能町東ときわ台1-2-5 ユーベルホール内		
電話番号	072-741-8235		
ふりがな 公演団体名	ふいるはもにつくういんずおおさかん フィルハーモニック・ウインズ 大阪		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	理事・松尾 共哲		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1999年4月(法人設立2006年6月)		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事兼正指揮者:松尾共哲 理事:中村成範、石山歩 経理:竹内央(税理士)、岡原さつき 監事:上野隆也		構成員:楽員39名(うち事務兼務7名)。 加入条件:面接・実技審査を経て1年間の試用期間の後、楽員からの承認を得て入団となる。
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名	高本 智沙
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	岡原 さつき

制作団体沿革	<p>【特定非営利活動法人フィルハーモニック・ウインズ 大阪】</p> <p>1999年04月 自主運営の吹奏楽団として結成</p> <p>2005年10月 元大阪市音楽団団長の木村吉宏が音楽監督に就任 フィルハーモニック・ウインズ 大阪(オオサカン)に改称</p> <p>2006年06月 特定非営利活動法人格を取得(プロフェッショナル吹奏楽団としては日本初)</p> <p>2007年03月 「21世紀の吹奏楽～第10回饗宴」に出演(東京/東京芸術劇場)</p> <p>2009年07月 第14回世界吹奏楽大会(WASBE)にアジア代表として出演(アメリカ/シンシナティ)</p> <p>09月 創立10周年記念第7回定期演奏会を大阪/ザ・シンフォニーホールにて開催</p> <p>2011年02月 豊能町教育委員会と「教育・文化・芸術等の振興に関する協定」を締結</p> <p>04月 オリタノボッタがミュージック・アドバイザーに就任</p> <p>2013年04月 ヤン・ヴァンデルローストが首席客演指揮者に就任</p> <p>2014年02月 NAXOSよりCDリリース(日本の吹奏楽団としては初)</p> <p>2018年01月 松尾共哲が正指揮者に就任</p> <p>05月 第49回日本吹奏楽指導者クリニックのファイナルコンサートにゲスト出演</p> <p>2019年12月 第73回ミッドウエスト・クリニックのファイナルコンサートに招聘・出演(アメリカ/シカゴ)</p> <p>2020年08月 当団CDが雑誌「レコード芸術」(音楽之友社)準特選盤・優秀録音、 雑誌「stereo」(同社)優秀録音盤に選出される</p> <p>2022年07月 当団CDが雑誌「レコード芸術」(音楽之友社)特選盤・準特選盤に選出される</p>	
学校等における公演実績	<p>2005年より関西を中心に学校公演実績あり 累計 約100公演</p> <p>(直近)</p> <p>2019年度 小学校5校、中学校1校</p> <p>2020年度 小学校2校</p> <p>2021年度 小学校2校</p> <p>2022年度 小学校3校、中学校3校(予定)</p>	
特別支援学校等における公演実績	なし	
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	http://osakan.jp/irai/school.html https://youtu.be/yDACLZbeS5l
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 フィルハーモニック・ウインズ 大阪】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	吹奏楽の魅力えとこどり！～楽器を学ぼう、音楽を楽しもう～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【オープニング】①『ドラゴンクエストより「序曲」』/すぎやまこういち 【楽器紹介】②各楽器の特徴を、実演を交えて解説 【ルロイ・アンダーソン作品より(打楽器フィーチャー)】<3曲より1曲を選択> ③『シンコペイテッド・クロック』または『タイプライター』または『サンドペーパー・パレエ』 ④『アルルの女より「メヌエット」』/ジョルジュ・ビゼー 【指揮者体験コーナー】⑤『カルメンより「第1幕への前奏曲」』/ジョルジュ・ビゼー ⑥『天国の島』/佐藤博昭 または 『アルヴァマー序曲』/ジェイムズ・バーンズ 【参加型プログラム】⑦『ラデツキー行進曲』(手拍子)/ヨハン・シュトラウス1世、⑧ジャンベの演奏(リズム遊び) 【共演コーナー】⑨吹奏楽部・金管バンドまたは器楽との合同演奏 各学校の希望曲 または合唱奏<3曲より1曲を選択>『ピリープ』 または 『翼をください』 または 『校歌』 ※別途編曲 ⑩『情熱大陸』/葉加瀬太郎 【メイン】<4曲より1曲を選択>⑩『塔の上のラプンツェル』 または 『美女と野獣』 または 『千と千尋の神隠し』 または 『ものけ姫』 【アンコール】⑫(学校からのリクエスト曲)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合 権利者名		許諾確認状況
演目概要	別添		
演目選択理由	別添		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>【指揮者体験コーナー】演奏の始め方、終わり方、図形の描き方を指揮者からレクチャー。会場全員で練習して指揮を学んだ後に、児童生徒2～3名程度による吹奏楽の指揮体験を実施します。 【参加型プログラム(①②どちらも実施)】①『ラデツキー行進曲』での手拍子参加。指揮者が指示する音量の変化に即興で対応し、聴く力を養います。②アフリカの打楽器ジャンベを使用し、コール&レスポンスによって演奏者が叩いたリズムを真似て演奏していただきます。 【共演コーナー(①②いずれか実施)】①吹奏楽部・金管バンドとのコラボやリコーダー・鍵盤ハーモニカ等授業で使用している器楽との共演。②大迫力の吹奏楽伴奏による合唱奏。一度に多くの児童生徒との共演が可能です。</p>		
出演者	<p>出演者:指揮者@1名、司会者@1名、演奏者@43名 指揮:松尾共哲 司会:中村成範 吹奏楽:フィルハーモニック・ウインズ 大阪(以下メンバー表) ※エキストラは変更の可能性あり 松岡千聖/廣瀬紀衣/藤森友香(フルート・ピッコロ)渡邊真澄美(オーボエ)清水美咲(バスーン)小山陽子/北川睦子/杉山清香/田尻知実/寺本純子/松原邦彦/岡本祥央子/谷井泰/檜崎誉(クラリネット)小山麻奈/峯脇千春/鈴木陽平/川口智也(サクソ)源野加苗/嶋崎海/浅野茉友香/松村香緒里(ホルン)岡原さつき/川口友紀/越村卓司/高本智沙/南川隆星/谷本洋一(トランペット)河毛博子/高島潤/森悠翔(トロンボーン)立石香織/友澤実咲(ユーフォニアム)岡田淳/高島静(チューバ)大島明子(コントラバス)松尾徳子(ハープ)池邊雅美/石山歩/川内まり子/千葉麻未/宮崎美葉/森田貴史(パーカッション)</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	<p>出演者: 45 名 スタッフ: 5 名 合 計: 50 名</p>	運搬	<p>積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		—	程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	【午前区分】8:00 【午後区分】9:30	8:00～9:30 9:30～11:00	11:00～12:30 13:30～15:00	10分	12:30～14:00 15:00～16:30	14:30 17:00
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。午前区分・午後区分いずれかをお選びいただけます。					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	5日	5日	0日	5日	10日	
	11月	12月	1月	計	40日	
	10日	5日	0日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	50名程度(合同演奏)、制限なし(合唱奏)		
			鑑賞人数目安	制限なし		

舞台の規模(レイアウトイメージ)



舞台設置場所:ステージ上・フロアの両方



舞台設置サイズ:ステージ 幅10m×奥行1m
フロア 幅16m×奥行6m

【参加型プログラム】 ①『ラデツキー行進曲』(手拍子)



演奏に合わせて手拍子で参加。その場で指揮者が指示する音量の変化に即興で対応していきます。

【参加型プログラム】 ②ジャンベの演奏(リズム遊び)



コール&レスポンスによって演奏者が叩いたリズムを手拍子で演奏。言葉を介さないリズムでの対話を行います。

【指揮者体験コーナー】



指揮の振り方や役割などを説明後、代表2～3名の方に実際に指揮をしていただきます。

【共演コーナー】 合唱奏



事前のワークショップにより練習した内容の成果発表。大迫力の吹奏楽伴奏で音楽を作り上げる喜びを体験できます。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 フィルハーモニック・ウインズ 大阪 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	制限なし
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>◆前半 50分</p> <p>①オーケストラと吹奏楽の違い 弦楽器主体のオーケストラと、管楽器主体の吹奏楽。 楽器構成などにどういった違いがあるのか、視覚的にも分かりやすく伝えるためプロジェクター等を使用し て解説します。 また、同一曲のオーケストラの演奏と吹奏楽に編曲したものを音源にて聴き比べてもらい、楽器構成の違いが どのように音に影響を与えるのか、音の質感の違いや印象の違いも感じてもらいます。</p> <p>②吹奏楽で使われる楽器の紹介 木管楽器・金管楽器・打楽器の各講師により、発音体や楽器の形、大きさによる音高の変化など、イラスト を使用しながら解説。また本公演プログラムでは見えづらいマウスピースやリードの形状など、プロジェク ターなどで大きく映し出し、普段見る機会の少ない楽器の細かな部分も学べる機会を創出します。</p> <p>③鑑賞するにあたって 本公演プログラムをより楽しんで鑑賞できるよう、注目ポイント(楽器の形や演奏者に注目し、どんな音が出る か、どんな響きが体に伝わるかを感じる)を含めた鑑賞方法から拍手のタイミング等まで解説します。「歌 詞のない音楽」をどのように鑑賞するか、想像力をいかに働かせるかについても解説し、本公演への期待 感を高めます。</p> <p>◆後半 50分 (共演コーナーの項目によって下記①②のいずれかを選択)</p> <p>①合唱指導 指揮者の観点から、呼吸法、発声なども含めた歌唱指導を行います。児童生徒でハーモニーを合わせる こと、聴衆に伝わりやすい表現方法の工夫(歌詞や音楽に合わせた音量の変化・発音・声質の変化の工 夫)などを伝え、公演当日までの課題を提示して取り組んでもらいます。</p> <p>②吹奏楽・金管バンド・器楽の指導(いずれか一つ) 各校のご希望に応じた形での合奏指導を行います。楽器を大まかに分けたセッションごとの指導や、合奏 の中に演奏者が入り一緒に演奏しながら指導する合奏指導など、より効果的な方法をご相談しながら実 施。今後の活動にも生かせる演奏法のアドバイスはもちろんのこと、公演当日までの練習方法等を提示 し、一緒に音楽を作り、本番で成果を発揮できるよう導いていきます。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>音楽鑑賞会での学びの質向上、体験をより深いものにするをねらいとして、基礎知識を身に付けること で演奏の理解度を高め、結果的に公演をより楽しむことができるよう、楽器などについて学ぶ時間と実際 に演奏しながら指導を受ける時間に分けて行います。 まず楽器を学ぶ時間においては、吹奏楽とオーケストラに含まれる楽器の違いをクイズ形式で解説したり 、楽器の一部分のアップ写真などを活用し、どの楽器の一部分かを当てるクイズを出題したりするなど、 音楽や楽器に興味のない児童生徒への動機付けも工夫します。また、本公演プログラムへの期待感を高 めるための工夫として、あえてすべての楽器を実物で見せることはせず、実際の音色もここではあまり聴か せない状態を作ります。そうすることで実際に鑑賞会で実物を見て聴いた時の印象を強めることが狙い です。次に共演コーナーの指導においては、課題を明確にしながら練習を行い、小さな成功体験を重ねて いきます。また児童生徒の皆さんがともに力を合わせ、一つの音楽を作り上げていくことで、「一緒に演奏 する楽しみ」「練習を通して上達していく喜び」「発表の達成感」を体感できます。プロの演奏家だからこそ 伝えられる音楽表現の方法や聴衆に伝わりやすい表現の工夫などをアドバイスしながら、直接触れ合える 貴重な機会を通して、音楽そのものに興味をもち、音楽表現を楽しんでもらいたいと考えています。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>特別支援学校の場合は、ワークショップの内容を工夫して実施します。 合唱奏を手話歌とのコラボレーションとしたり、各学校の希望や児童生徒の障がいレベルに応じて手拍 子参加やジャンベでの演奏・リズム遊びをワークショップでじっくりと取り上げるなど、リズムに親しみ共演 を行う内容に切り替える予定です。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名 フィルハーモニック・ウインズ 大阪 】
演目概要	<p>【吹奏楽の魅力ええとこどり】◆多彩なジャンルの音楽を鑑賞する 【ゲーム音楽】『ドラゴンクエストより「序曲」』 【クラシック】『アルルの女より「メヌエット」』 【吹奏楽オリジナル】『天国の島』 または 『アルヴァマー序曲』 【ポップス】『情熱大陸』 【ディズニー・ジブリ作品】『塔の上のラプンツェル』 または 『美女と野獣』 または 『千と千尋の神隠し』 または 『もののけ姫』</p> <p>【楽器を学ぼう】◆楽器紹介 吹奏楽を構成する楽器のグループ分けから、発音体の違い、大きさの違いなど細かく紹介するとともに、各楽器の特徴を解説。 またその楽器特有のオーケストラスタディや、特徴が強く表れる曲、どこかで聴いたことのあるメロディーなどを中心に上げて実演することで、それぞれの楽器をより身近に感じてもらう工夫を行います。</p> <p>【楽器を学ぼう】◆打楽器フィーチャー(生活の中にある道具や音を使った作品) ルロイ・アンダーソン作品はメロディーやハーモニーを楽しむだけでなく、生活の中に溢れている音を使った作品が多く、そういった作品を通じて「音楽は身近な所に存在している」ということがわかるようになります。 司会者である打楽器奏者中村成範がソロ打楽器を担当、音にこだわった魅力あふれる演奏をお届けします。</p> <p>【音楽を楽しもう】◆指揮者体験コーナー 指揮者から指揮の振り方、役割などを説明し、全員で練習した後、代表2～3名の方に指揮をしていただきます。</p> <p>【音楽を楽しもう】◆参加型プログラム 以下の2つのプログラムに、その場で手拍子で参加していただきます。 ①『ラデツキー行進曲』を使用し、演奏に合わせて手拍子で参加。その場で指揮者が指示する音量の変化に即興で対応していきます。 ②アフリカの打楽器ジャンベを使用し、コール&レスポンスによって演奏者が叩いたリズムを手拍子で演奏。リズムだけで作られる音楽を体験し、言葉を介さないリズムでの対話を行います。 いずれのプログラムにおいてもワークショップでは練習せず、公演内での参加となります。 2つのプログラムを通して即興的に音量やリズムの変化に対応していくことで、音楽をしっかりと聴く力を養うと同時に、その場で音楽を生み出す体験を通して会場全体の一体感を創出します。</p> <p>【音楽を楽しもう】◆共演コーナー 以下①②のいずれかを選択し、プロ吹奏楽団との共演を行います。 ①吹奏楽部・金管バンドまたは器楽との合同演奏＜各学校の希望曲＞ ※上記3つのうち、いずれかの演奏形態を選択 ②合唱奏＜3曲より1曲を選択＞ 事前のワークショップにより練習した内容の成果発表の場となります。 器楽では鍵盤ハーモニカやリコーダー、合唱奏では歌といった、管楽器同様に息を使った響きの調和を目指します。 もちろんその他の器楽との共演も可能。プロの演奏家によるサポートで、音楽の授業からさらに発展した音楽表現を学び、生徒が主役となり演奏を発表します。 一緒に音楽を作り上げていく喜びや上達する楽しさを味わい、仲間と演奏する素晴らしさを体感すると同時に、成功体験を重ねていく大切な役割を担っています。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 フィルハーモニック・ウインズ 大阪 】
<p>演目選択理由</p>	<p>本公演を最善の学びの機会とするため、下記3つのテーマにこだわり演目を構成しました。</p> <p>【吹奏楽の魅力ええとこどり】 クラシック作品から吹奏楽オリジナル作品、さらにはゲーム音楽からポップスに至るまで多彩なジャンルの音楽を選択。普段は音楽に興味がない、あるいは吹奏楽を知らない児童生徒の心もつかめる作品ばかりです。 特にオープニングはゲーム音楽で誰もが知っている作品として『「ドラゴンクエスト」より序曲』を選択、身近なゲームでの聴きなじみのある曲目であるため、音楽に興味がない児童生徒の関心を引くと考えています。 その他、TV番組等で使用されている吹奏楽のオリジナル作品、オーケストラの編曲作品、ディズニーやジブリなどの多様なジャンルの音楽を選択しました。 特に『アルルの女よりメヌエット』はクラシック作品でありながらビゼー本人がアルトサクソフーンを取り入れており、吹奏楽特有の楽器として本来の響きを体感できます。 また歌詞のない作品を選択することで、鑑賞を通して想像を膨らませる力を養うことも狙いのひとつです。</p> <p>【楽器を学ぼう】 吹奏楽の楽器を音色も含めて学ぶ他、日常にある音を扱った作品を取り上げます。ルロイ・アンダーソン作品はメロディーやハーモニーを楽しむだけでなく、生活の中に溢れている音を使った作品が多く、そういった作品を通じて音楽は身近な所に存在していることがわかるようになります。</p> <p>【音楽を楽しもう】 指揮者体験・手拍子での参加に加え、吹奏楽や合唱との共演により、聴くだけでなく表現する楽しさを学びます。 ラデツキー行進曲での手拍子はウィーンフィルのニューイヤーコンサートでも定番化しており、音量の変化をしっかりと味わえる曲です。 またアフリカに起源を持つジャンベは、太鼓として低音から高音まで多様な音が出る他、体への振動も感じられることから、特別支援学校や聴覚障がいを持つ生徒へもリズムが伝わりやすい楽器として選択しています。</p> <p>上記のように、吹奏楽の魅力である 「多彩なジャンルの音楽を奏でられる演奏形態」 「管楽器が主体のアンサンブルと、息を合わせて仲間と演奏する素晴らしさ」 を学び体験できるプログラムを目指して選曲しました。</p>	